



公明党
堀 重雄

ごみ袋について

【質問】 燃やせるごみ袋の規格が20ℓと40ℓとなっている。1人世帯の方には大きすぎて無駄になり、10ℓサイズを要望されている市民もいるが、本市の見解を伺う。

【答弁】 平成15年度のごみ袋導入の際に、審議会の答申に基づき、20ℓと40ℓの2種類となり現在に至っています。10ℓのごみ袋は、昨年、市民の方からも提言をいただき、市として検討してきました。市民団体の1人世帯、2人世帯の方を中心に意見を伺い、結果として現状の2種類で十分との回答でした。将来的には10ℓの需要が高まる可能性もあると考えますが、現時点では費用が発生することもあり、作成は考えていません。

公営住宅の入居資格について

【質問】 公営住宅の入居基準では、公営住宅から別の公営住宅への住み替えができないと思うが、高齢

者や障がい者の方への配慮はあるのか伺う。

【答弁】 公営住宅は、住宅に困窮する方に対して市場より安い家賃で住戸を提供することを目的としています。このことから、すでに公営住宅に入居している方が、別の公営住宅へ住み替えることは原則できません。

しかし、入居者によっては、世帯構成の変化や高齢化などにより住宅に住み続けることが困難な場合もありますので、一定の要件を満たした場合は、例外的に住み替えを認めています。一例として、高齢者・障がいのある方の世帯では、エレベーターのない住宅から1階またはエレベーター付きの別の公営住宅への住み替えを認めています。

【質問】 高齢の親の介護のため、親と同じ公営住宅、もしくは近くの公営住宅への住み替えは可能か伺う。

【答弁】 住み替えにはさまざまな要件がありますが、現行の住み替え要件を柔軟に適用することで希望に添える可能性もありますので、ご相談ください。



会派みどり
渡 邊 龍之

東滝川地域づくりの考え方について

【質問】 花・野菜技術センターと連携を図るうえで、付加価値のある農業生産品の開発が必要だが、農家に対する支援の考え方について伺う。

【答弁】 花・野菜技術センターでは研究成果の普及、定着を図るため、毎年、関係機関や農業者への情報提供のためのセミナーを開催しているほか、農業者のみならず広く一般の方を対象とし、気軽に園芸相談ができる「公開デー」を開催するなど、地域と密着した施設として取り組んでいただいています。昨年からは、地元として同センターとの連携を一層進めるため、市とセンターのお互いの課題について理解を深め、効果的に双方の事業を進めるための定期的な打ち合わせの場を設けており、「花・野菜技術センターは滝川にある」という優位性を生かし、さらに連携

を深めて取り組んでいきたいと考えています。

子育て支援について

【質問】 消費税10%増税に対する措置として、国は子育て支援の施策を講じます。

本市としてはいろいろな子育て支援策の中で、保育所における保育料および給食費に対する軽減に向けての対策をどのように考えているのか伺う。

【答弁】 保育所に通所している3歳から5歳までのすべての子どものほか、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの保育料が無償になります。

また、給食費については、現行3歳以上は主食費が実費負担となっていますが、生活保護世帯など一部を除き副食費も実費負担することとされました。

本市の保育料は、国の制度に準じながら、独自に10%減額し設定していますが、0歳から2歳までの無償化対象となっていない世帯に対しても、現行どおり10%減額した保育料とし、引き続き支援を継続します。